

C・キッズ・ネットワーク

広報紙

もっとネット

No.18

2022年6月発行

■ P1

寄稿文

食deつながる

小田 希様より

■ P2

成年年齢引き下げに
向けて

■ P3 P4

出前講座

■ P5

イベント

■ P6

新しい取り組み

■ P7

消費生活豆知識

18歳はもう大人!



大人になりたての
数年は狙われやすい!
しっかり考えてから
契約し

「簡単に稼げる」もうけ話のトラブル

マルチ商法 ネットワークビジネス

人に紹介すれば
簡単にもうかる

友人・知人に

紙芝居

ネットで簡単に稼げる

- ・簡単に稼げる話はない!
 - ・安易に連絡しない
 - ・きっぱり断る
 - ・借金をしてまで契約しない
- に相談

どうして
トラブルに
あいやすい?

「18・19歳」「20～24歳」の年度別相談件数（平均値）



どうしてボクだけ
お金返して
もらえないの?

入会金の返金は
できません

契約書にも
書いてあります

しっかり学ぼう! ネットと契約
～18歳成人に向けて～



高校生用消費者教育教材 DVD より抜粋

「ストップ！！食品ロス いたみ」市民協働事業を共に推進する、心強い同志として

私たち「ストップ！！食品ロス いたみ」は、令和2年度から伊丹市と協働で「食品ロス削減」事業を展開する市民団体です。伊丹市から委託を受け、子どもから大人まで幅広い層に展開する「食品ロス削減啓発講座」と、家庭の余剰食品を集めて地域の食支援の必要な福祉団体や個人へ届ける「フードドライブ&フードシェアリング」の2本柱で事業を展開しています。2つの団体が手を携えて活動し今年で3年目、集大成の年となります。

C・キッズ・ネットワークとのご縁は、私が代表を務める「ボランティアグループ 食 de つながる[🌱]」が平成30年11月に伊丹市役所市庁舎をお借りして行ったフードドライブ活動の最中に、理事の小川様が訪ねて来られたのが始まりでした。フードバンク関西様と作り上げた「もったいない！食べ物を大切に」の食品ロス削減啓発プログラムの開発秘話や消費者教育にかける想いをお話くださり、一緒に活動しませんか？とお誘いを受けました。その熱意に、グループ一同大きく心を動かされたことを今も鮮明に覚えています。そんな矢先、平成31(令和元)年度の伊丹市の市民協働事業公募に「食品ロス削減」事業が行政提案型として挙がりました。これを共に活動するチャンスと捉え、両団体のメンバーで構成する市民団体「ストップ！！食品ロス いたみ」を立ち上げ、上記2本柱の事業を提案、採択され現在に至ります。発足以来、小川様には団体副代表として活動を支えていただき、大変心強いです。

令和2年度の協働事業開始と同時に新型コロナウイルスの感染拡大に直面し、イベントや講座の開催が難しくなりました。しかし、C・キッズ・ネットワークの皆様は粘り強く啓発講座の開催交渉・感染対策など入念に準備を進め、これまで自治会での高齢者向け講座や地域民生委員の研修講座、小学校での子供向け土曜学習講座など、多くの幅広い世代の市民が食品ロスの問題に気づく機会を作ってくださいました。大人向けには消費期限と賞味期限の違いや「てまえどり」など買い物の際にすぐ取り組める提案を、そして子供向けには写真を使ったクイズやパネルシアター・工作など楽しい参加型の講座を通じ、多くの参加者の心に深く「食べ物捨てるの、もったいない」の想いが刻まれています。また、市庁舎やイベントで共に活動した際、積極的に参加者に声をかけ、消費者目線に立って活動するC・キッズ・ネットワークの皆さんの高いプロ意識に触れ、食 de つながる[🌱]のメンバーも大いに刺激を受け、学びの機会を頂いています。

伊丹市では、令和3年11月に市職員による拠点回収フードドライブが始まり、行政として食品ロス削減に本気で取り組む大きな一歩を踏み出しました。市民一人一人が「じぶんごと」として食品ロス削減に取り組めるよう、今後もC・キッズ・ネットワークの皆様と共に力強く食品ロス削減事業を進めていきたいと思っております。今後とも、末永くよろしくお願い申し上げます。

ストップ！！食品ロス いたみ

ボランティアグループ 食 de つながる[🌱]

代表 小田 希

イタミ蔵マルシェ



ストップ！！食品ロスいたみのメンバー

イタミ朝マルシェ



フードドライブの様子

民法改正により、2022年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。成年になると親の同意を得なくても「携帯電話を購入する」「ひとり暮らしのためにアパートを借りる」「クレジットカードを作る」など、様々な契約ができるようになります。その反面、未成年者契約の取消しはできなくなります。

成人になりたての若者は契約の知識や社会経験が乏しく、契約に慣れていないため、内容を十分理解しないまま契約しがちです。しかし、未成年者取消しが使えないので救済されません。成人になりたての若者は契約トラブルに巻き込まれる恐れが高いと考えられます。

若者への消費者教育の重要性が増すなか、中学校、高校、特別支援学校などで、「しっかり学ぼう！ネットと契約～18歳成人に向けて～」「若者の消費者トラブル」などの出前講座を行いました。また講座内容をもとにした高校生向けDVDも制作しました。(DVDについてはP6で紹介しています)

しっかり学ぼう！ネットと契約～18歳成人に向けて～
(高校生用講座プログラム内容)

やってはいけないバイト

- ・アンケートに答える・荷物を代わりに受け取る
- ・メールで相談にのるバイト

成年年齢が18歳になったら

- ・ロールプレイ「どうして僕だけお金返してもらえないの?!」

トラブル事例を考える

- ・紙芝居：ネットで簡単に稼げる ～もうけ話のトラブル～
- ・ロールプレイ：スマホでサプリを注文したら～通信販売トラブル～
- ・二重まぶたにしたら… ～美容医療トラブル～
- ・消費生活センター

成人と未成年の違いは？

17歳 未成年	2022年4月から 18歳 成人
契約には親の同意が必要	親の同意がなくても契約できる
未成年者取消しができる	成人なので取消しできない

紙芝居「ネットで簡単に稼げる」より



中学・高校生向け契約講座

2021年度 講座数・受講者数

対象	講座数	受講者数
中学生	7	596
高校生	12	1,560
特別支援校生	15	198
合計	34	2,354

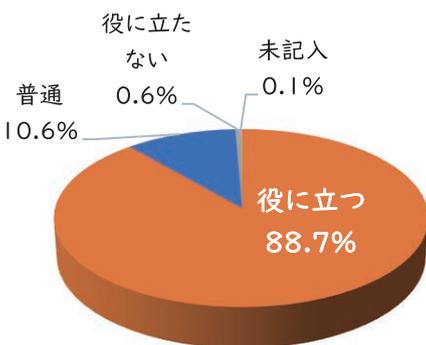


講座風景（高校）



受講生アンケート結果

今日の授業は役に立ちますか？



回答者数1,550人

アンケート感想より（原文まま）

- ・狙われやすい年齢だと初めて知って、危機感をもって行動しなければと思った。（高校生）
- ・ネットの使い方を改めて見直そうと思いました。社会にでたらもう成人のあつかいとなるので、自分の行動に責任を持って行おうと思いました。（高校生）
- ・思ったより自分の身の周りには危険がいっぱいあるということが分かった。（中学生）
- ・来年から成年年齢が18歳になることを初めて知ったので驚いた。契約書などは細かいところまで読むようにしたいと感じた。（中学生）

■ 出前講座

受講者数はコロナ前の2019年度は12,804人ありましたが、コロナ禍の2020年度では約半数の5,781人に減りました。2021年度は講座形態の工夫などを行い、With コロナでの講座が定着して受講者数は大幅に回復しました。

依頼者別出前講座数

	センター名	講座数	主な対象者	受講者数
兵庫県立の消費生活センター	消費生活総合センター	7	高校生	97
	東播磨	4	高校生・一般	71
	中播磨	5	高校生	90
	西播磨	3	高校生	45
	丹波	4	高校生	72
	淡路	1	高校生	53
県内市町の消費生活センター	宝塚市	35	学童・高校生・一般・親子	816
	明石市	22	小学生	683
	西宮市	12	未就学児・小学生・	387
	伊丹市	11	学童・一般・高齢者	260
	播磨町	10	小学生・中学生・一般	674
	三田市	5	高齢者・一般	97
	姫路市	4	高校生	843
県外の消費生活センター	豊中市	63	小学生・中学生	1,966
	東大阪市	61	未就学児・小学生・	1,560
消費生活センター以外	岐阜県輪之内町	10	小学生・中学生	252
	コープこうべ	56	一般・親子	496
	兵庫県立消費生活情報プラザ	5	小学生・親子	47
	ストップ!!食品ロスいたみ	4	小学生・高齢者・親子	83
	三田市いきいき高齢者支援課	3	高齢者	31
	関西消費者協会	2	高校生・高齢者	402
	灘中学校	2	中学生	184
	奈良県金融広報委員会	2	親子	72
	ひょうごエコプラザ・ひょうご出前環境教室	2	小学生・一般	42
	神戸こどもエコチャレンジ21倶楽部	2	学童	32
	とよなか障害者就業・生活支援センター	2	一般	30
	甲南女子大学	2	大学生	21
	芦屋市市民生活部地域経済振興課	1	高校生	88
	ひょうご消費者セミナー	1	一般	71
	加東市消費者協会	1	一般	20
	宝塚市高齢者・障害者権利擁護支援センタ	1	高齢者	10
	加西市ふるさと創造課	1	一般	4

講座数:344講座
受講者数:9,599人

夏休みの学童保育
対象講座が復活

岐阜県輪之内町での
遠距離の講座も復活

コープこうべの組合員
対象講座は、感染予防を
徹底した上で活発に開催
されました



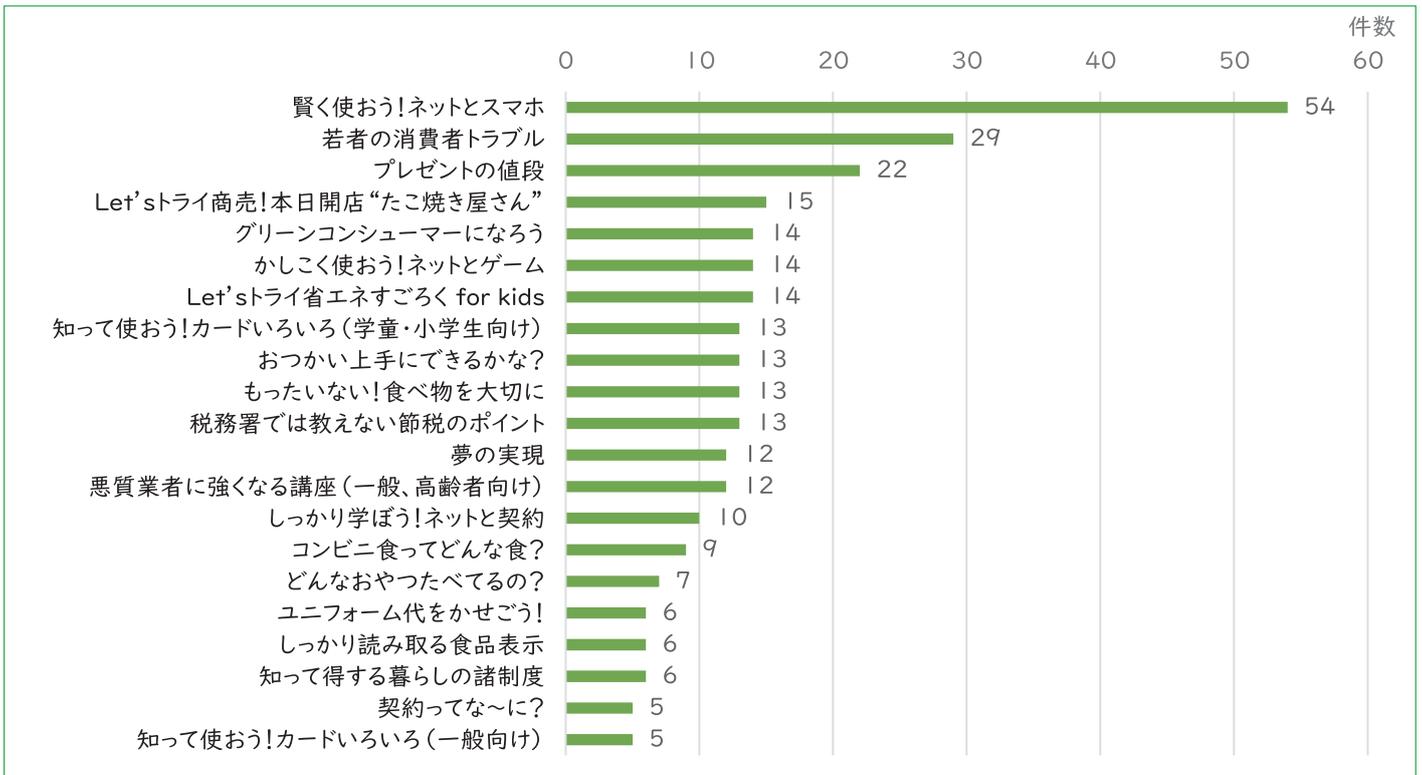
コープ委員会
「賢く使おう！ネットとスマホ」
2021/7/2



宝塚市放課後児童クラブ
「Let'sトライ省エネすごろく for kids」
2021/7/27

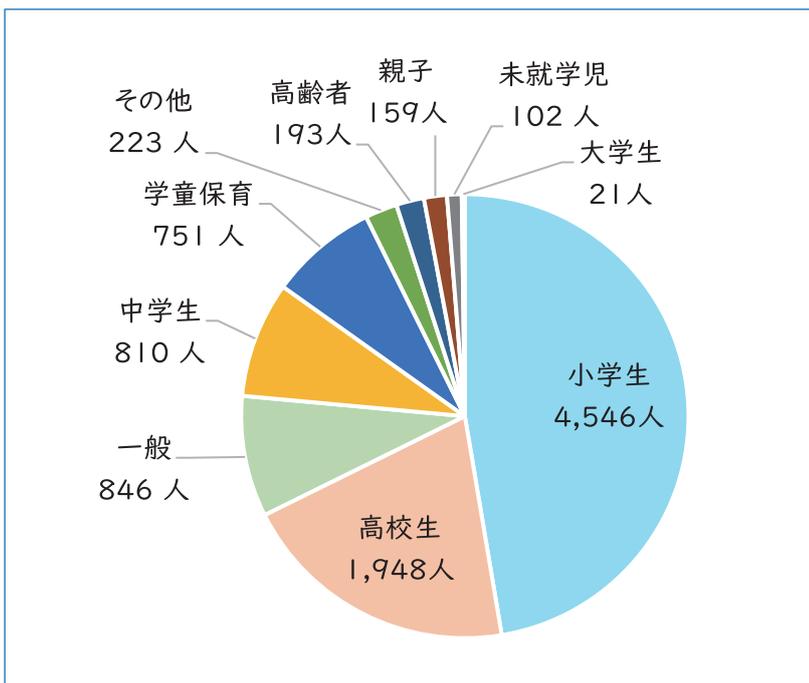
プログラム別講座数

2015年度から講座数ベスト1を守っている「賢く使おう!ネットとスマホ」は引き続き多くの依頼があり、合計54講座ありました。2022年4月の成年年齢引き下げに伴い、若者向け契約講座「若者の消費者トラブル」の依頼が増え、高校、特別支援校などを中心に29講座開催されました。



対象者別受講者数

小学生が一番多く、食、環境、ネット、カード、金銭講座など4,546人に受講してもらえました



豊中市・小学校「コンビニ食ってどんな食?」
2021/9/17



西宮市・中学校「プレゼントの値段」
2021/10/18



伊丹市・小学校「もったいない!食べ物を大切に」
2021/12/4

■ イベント

宝塚市、西宮市、伊丹市のイベントで開催されたパネル展やフードドライブ、また交流トークショーに参加できました。

開催日	場所	名称	内容
7月26日 ～8月23日	宝塚市	環境都市宝塚推進市民会議 パネル展	食品ロス削減に関するパネル展示
11月3日	西宮市	Nature to Future 2021	交流トークショーに参加
11月6日	西宮市	消費生活展 パネル展	契約、ネットに関するパネル展示
11月8日	伊丹市	フードドライブ	食材を提供して下さった市民への 食品ロス削減に対する啓発
11月21日	西宮市	Nature to Future 2021	自然ふれあい体験教室のブースに参加
3月9日 ～3月16日	宝塚市	環境都市宝塚推進市民会議 パネル展	食品ロス削減に関するパネル展示



宝塚市のパネル展に
参加しました

クイズでためそう！消費者力
〈契約〉 クイズに答えてね！

訪問販売 突然、事業者が自宅などにきて、商品の購入を促す営業
クイズ① 3日前、訪問してきた業者から浄水器を買った。クーリング・オフできる。

送り付け高法 一方的に商品を送り付け、その代金を請求する手法
クイズ② 注文していない商品が送られてきた。仕方ないから代金を払う。

利権高法 権利もかからないなど、利権による不当な利益を得ようとする手法
クイズ③ 「必ずもうかる」と株を勧められた。よし、買う。

マルチ高法 商品を売る人を紹介するだけで、収入を得ようとする手法
クイズ④ 友だちから誘われたので、断れない。全員になろう。

クイズでためそう！消費者力
〈ネット〉 クイズに答えてね！

ワンクリック詐欺 サイトやメールへのリンクをクリックしただけで、勝手に商品やサービスが購入されてしまう
クイズ① クリックすると、突然「登録完了」3万円の「請求画面」になった。どうしようか業者に問い合わせた。

オンラインゲーム 無料ゲームだが、お宝が隠れている
クイズ② 無料ゲームだから、どんどんアイテムをゲットして楽しもう。

ネットショッピング インターネット上で商品が買える。でも、送料が高くて、トラブルになることもある
クイズ③ ネットで、ステキなブランドバッグを買った。安いので、すぐに注文した。

出会い系サイト インターネット上で、不特定多数の人と交友できるサイト
クイズ④ 18歳未満の人の出会い系サイトの利用は禁止されている。

西宮市消費生活展でパネル展示
「クイズでためそう！消費者力」



伊丹市役所フードドライブ 2021/11/8



Nature to Future 2021 2021/11/21
みんなでダンス クイズ大会

食育プログラム「3つのお皿から食べよう！」食品カードを一新しました

「3つのお皿から食べよう！」は2010年の開発以来、多くの学童保育やイベントで実施してきました。つりぼりゲームで使用していた食品カードが傷んでいたため、一新しました。



2021年学童での講座



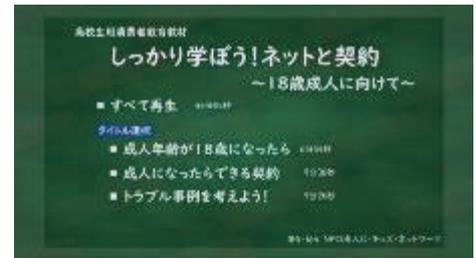
新しくなった食品カード

■ 新しい取り組み

コロナ禍においても実施できる消費者教育を目指し、オンラインを活用した活動、教材やプログラムの見直しに取り組みました。対面講座だけでなく、オンライン講座、対面とオンラインを併用したハイブリット講座など様々なケースに対応できるように研修会も行いました。

高校生用消費者教育教材 DVD「しっかり学ぼう！ネットと契約～18歳成人に向けて～」を制作

- ・コロナ禍においても利用しやすい DVD 教材を制作しました。
- ・2022年4月の成年年齢引き下げに向けて、高校生用にネットと契約の注意点を DVD にまとめました。
- ・トラブル事例紹介のロールプレイや紙芝居に武庫之荘総合高校演劇部の協力をいただきました。



食育プログラム「もったいない！食べものを大切に」オンライン講座用へ改良

- ・オンライン講座でも対面講座に近いかたちで体験できるようにパネルシアターを録画し配信できる動画を作成しました。
- ・クイズやカードを利用して、オンライン講座でも双方向のやりとりができるようにしました。



Google Forms や Microsoft Forms の活用（アンケート・ワークショップ）

- ・2021年9月に芦屋市の高校の講座ではじめて Google Forms でアンケートを行いました。学校にタブレットが普及したので、今後も活用していきたいと思えます。
- ・プログラム「プレゼントの値段」では、講座時間中のワークショップで行っていた『プレゼントの値段』3つの質問に Google Forms や Microsoft Forms を利用しました。講座実施前に質問の回答を送信してもらうことにより、ワークショップをよりスムーズにすすめることができるようになりました。



SDGs を学ぶ新規プログラム開発中です

持続可能な開発目標 SDGsについては商業ベースでは大きく取り上げられていますが、実際の生活で私たちが認識する機会は少なく、「SDGsとは何?」と聞かれてもなかなか説明できません。そこで、SDGsをもっと身近に感じて、誰でも SDGs な暮らし方ができるよう、楽しく学ぶプログラムを開発することにしました。

「つくる責任、つかう責任」を服から考えます



スライドより

講座の後半は
すごろくで遊びながら
できることを考えます



情報のユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、利用可能であるようにデザインすることをいいます。かたちあるモノのだけでなく、情報のユニバーサルデザインの必要性も高まっています。

情報を伝える大きな要素のひとつに色があり、案内表示や印刷物、いろいろな製品パッケージなど、ほとんどのものがカラーで表現されています。しかし、色の見え方にも個人差があって、人によっては一部の色の組み合わせが見にくく不便を感じるケースがあります。日本人男性の5%は赤と緑の区別がつきにくい色覚タイプだといわれ、色の感じ方が異なる色弱の人が日本では300万人以上いるといわれています。また弱視（ロービジョン）や白内障の人にも色の感じ方にも影響がでて、区別しにくい色がでてくるそうです。こうした多様な色覚を持つさまざまな人に配慮して、全ての人に情報が正確に伝わるように配慮された配色やデザインをカラーユニバーサルデザインと言います。

「どのような色なら見分けやすいか」「どんな点に注意したらよいか」などをまとめた「推奨配色セットガイドブック」※もあります。例えば、強調したい部分に赤色を使うことはよくあると思いますが、赤は黒と区別しづらい人が多いので、かわりに橙色よりの赤が推奨されています。画面で色指定するときのRGB値や印刷用のCMYK値も掲載されています。

※「推奨配色セットガイドブック」制作・発行：カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会
https://www3.dic-global.com/dic-graphics/navi/color/pdf/cud_guidebook.pdf

文字も情報を伝える重要な要素です。文字にも「ユニバーサルデザインフォント」があります。目の不自由な人も含め、より多くの人を読みやすく、誤読されにくいように考慮した書体です。手書きに近いかたちで直感的にわかりやすく、濁点が大きく区別しやすい、また「3」や「8」といった似た字は線の長さや角度を調節して違いが明確になっています。「製品に見やすいフォントを」と言う考えで松下電器（Panasonic）とフォントメーカーのイワタで2006年に共同開発された「イワタUDフォント」からはじまり、いまでは複数のフォントメーカーで開発されています。Windowsの「メイリオ」もユニバーサルデザインを意識して開発されたフォントです。またWindows10からはモリサワの「UDデジタル教科書体」が標準搭載されました。発達障害や読み書きに障害のあるディスレクシアの子どもにも読みやすいことも実証されていて教育現場でも積極的にとりいれられています。自治体の広報紙や鉄道の駅名標、商品表示などでの使用も増えています。東京オリンピック・パラリンピックの公式フォントもUDに基づいて開発されたフォントです。

より多くのひとに正しく情報を伝えるためには、作り手の感性のみに頼るのではなく、情報のユニバーサルデザインを意識して色や文字を選ぶことが必要だと思います。

（会員 Y.Y）

～編集後記～

成年年齢引き下げにスポットをあて、1年間の活動内容を編集しました。表紙の「18歳はもう大人！」をキャッチコピーに。知らなかった人に、えっ！そうなのと思って手に取ってもたえたら、と思っています。

2022年6月 広報一同

発行：NPO法人C・キッズ・ネットワーク
〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園 2-5-17-102
TEL/FAX：0798-31-2189
Mail：ckids.net@gmail.com
<http://ckids-net.org/>



会員募集中！
一緒に活動しませんか

2022年6月現在 総会員数49名